

事業評価シート【新規事業-2】

項目別評価	1. 事業の必要性		<ul style="list-style-type: none"> ・社会環境や市民ニーズと整合があるか。 ・市が事業を行うことについて妥当であるか。
	評価		◎評価理由(上記の観点などを参考にしてください)
	A	A. 必要性が高い B. 必要性が認められる C. 必要性について検討が必要である	ハザードマップを作成し、ため池の決壊による水害その他の災害から地域住民の生命及び財産を保護し、災害に強いまちづくりに市が関与することは、妥当である。
	2. 事業の有効性		<ul style="list-style-type: none"> ・総合計画基本計画の施策の達成にどのように寄与するか。 ・ほかの事業と関連できる場合、より有効に働く面はあるか。
	評価		◎評価理由(上記の観点などを参考にしてください)
	B	A. 有効性が高い B. 有効性が認められる C. 有効性について検討が必要である	危険なため池の改修は、農業者の水利確保だけでなく、治水施設として地域全体で守るべき施設であるため、有効性は高い。しかしながら、ため池の多くは、施設の老朽化が著しいことから、抜本的な改修が必要であり、多額の費用がかかる。
	3. 事業の効率性		<ul style="list-style-type: none"> ・投入したコストに見合った成果があがる見込みがあるか。 ・将来的なコストの増加・増大の要因はあるか。
	評価		◎評価理由(上記の観点などを参考にしてください)
A	A. 効率性が高い B. 効率性が認められる C. 効率性について検討が必要である	被害が発生する可能性のある箇所への対策が図られ、緊急時に正しい判断で避難を行い、市民の生命及び財産を保護できる。また、国庫補助を財源とし、有利な財源確保をしていることから、効率的である。	
4. 財源確保の見通し		<ul style="list-style-type: none"> ・国・県補助等の見通しはどの程度までであるか。 ・財源確保のため、他の事業を縮小又は廃止できる可能性はあるか。 	
評価		◎評価理由(上記の観点などを参考にしてください)	
A	A. 見通しがある B. 一部見通しがある C. 見通しがない	農業水路等長寿命化・防災減災事業交付金は、本来国費50%であるが、「防災重点農業用ため池に係る防災工事等の推進に関する特別措置法」が令和12年度までの計画で施行され、現状定額補助となっており、令和2,3年度は100%となっていることから、今後も予算確保の見通しがある。	
総合評価	■実施計画における位置づけ、財政状況による実現性		
	評価		◎評価理由
	C	A. 掲載する C. 掲載しない	国費補助により財源の見通しはあるが、事業実施による効果が不透明(令和2年10月実施政策調整会議・庁議指摘事項)である点が払しょくしきれていない。
	■政策調整会議による評価		
	評価		◎評価理由
C	A. 掲載する C. 掲載しない	近隣住民に対してため池の危険性の周知を考えること、また、マップの作成に先行して、ため池診断等を実施することが進め方として理にかなっているのではないか。	
■庁議による方針			
評価			
A	A. 掲載する C. 掲載しない	3か年実施計画に掲載するものとする。	